

LibrariE (ライブラリエ) 電子図書館の新しいモデル

■設立の目的と理念

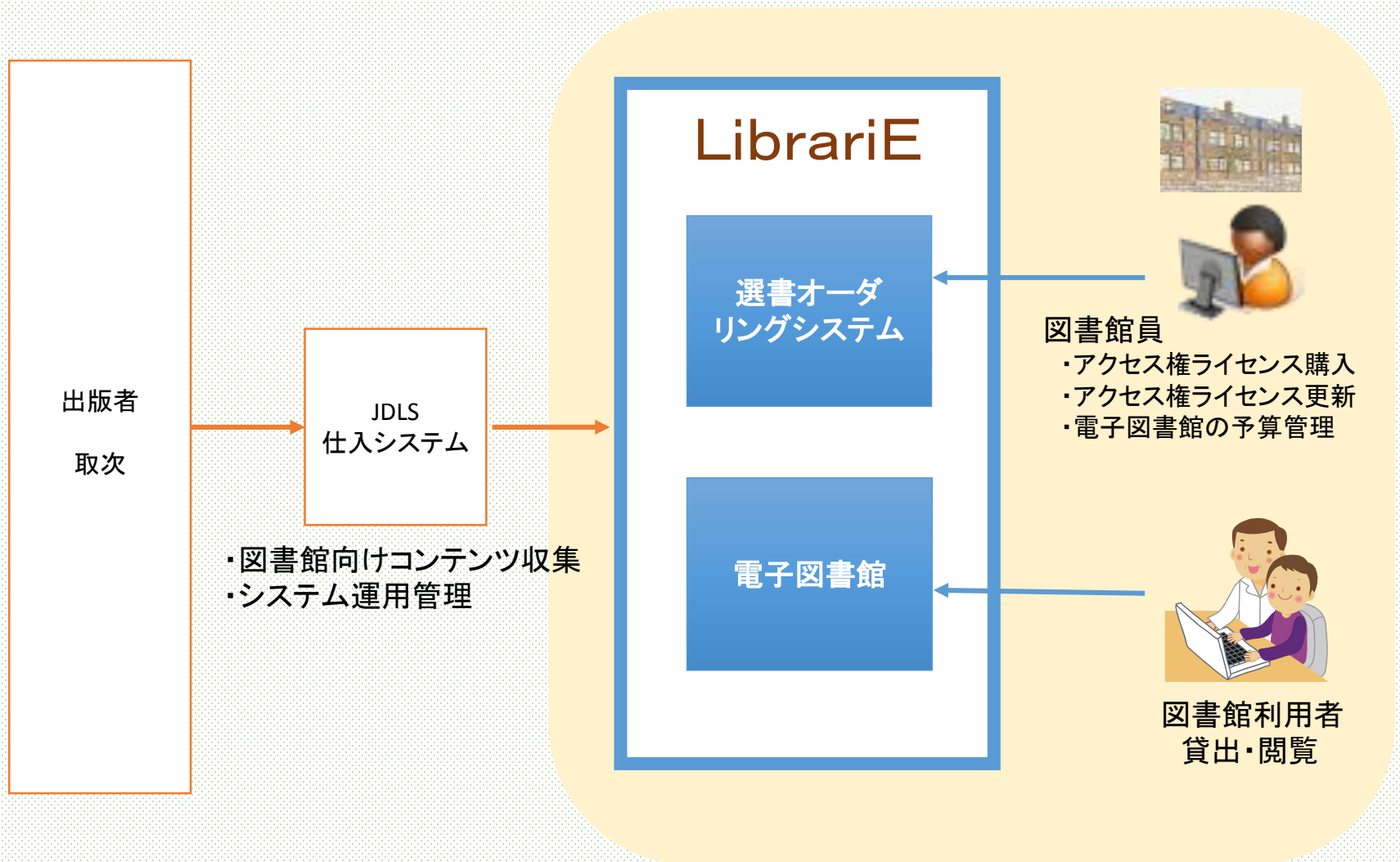
電子書籍時代を迎えた今日、迅速に時代に即したビジネスモデルを提示し、図書館に求められる「“知”の集積」という基本機能と、著作者および出版社が必要とする「“知”の再生産」には必須条件となる還元の仕組みを、ともに成立させるべく図書館・著作者・出版社の新たな関係を提案すること。

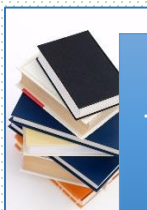
その流通促進に貢献し、図書館利用者に新たな読書環境を提供いたします。

基本
理念

図書館、図書館利用者、著作者、出版社をつなぐ
架け橋となる存在になる

サービス概念図 (LibrariEの2大機能)





1. これまでと比較にならない電子書籍ラインナップを実現



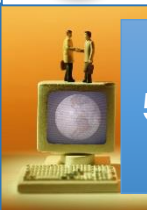
2. 365日24時間利用できる館外貸出サービス



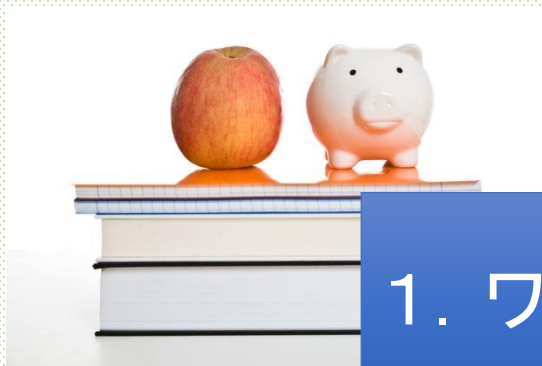
3. 電子化された郷土資料・自治体資料の受け入れ



4. 福祉サービスの強化(障がい者差別解消法への対応)



5. システム負担の少なく安全なクラウドサービス



1. ワンコピー/ワンユーザ型

電子書籍のアクセス権ライセンスを販売します。

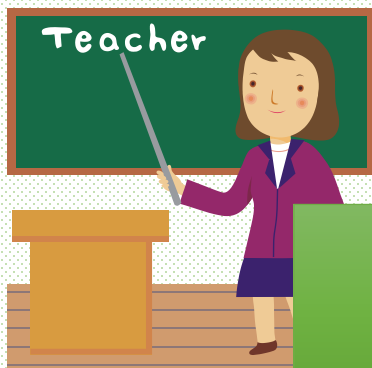
ワンコピー/ワンユーザ型はワンユーザ(1人のみ)に貸出し可能で、2年間または52回貸出しの制限付きのモデルです。



2. 都度課金型

新刊時には利用が多いものの2～3年経過すると数年に1回しか貸出しがない書籍もあります。

都度課金型は貸出しが少なくなった電子書籍に対応するライセンス更新モデルです。



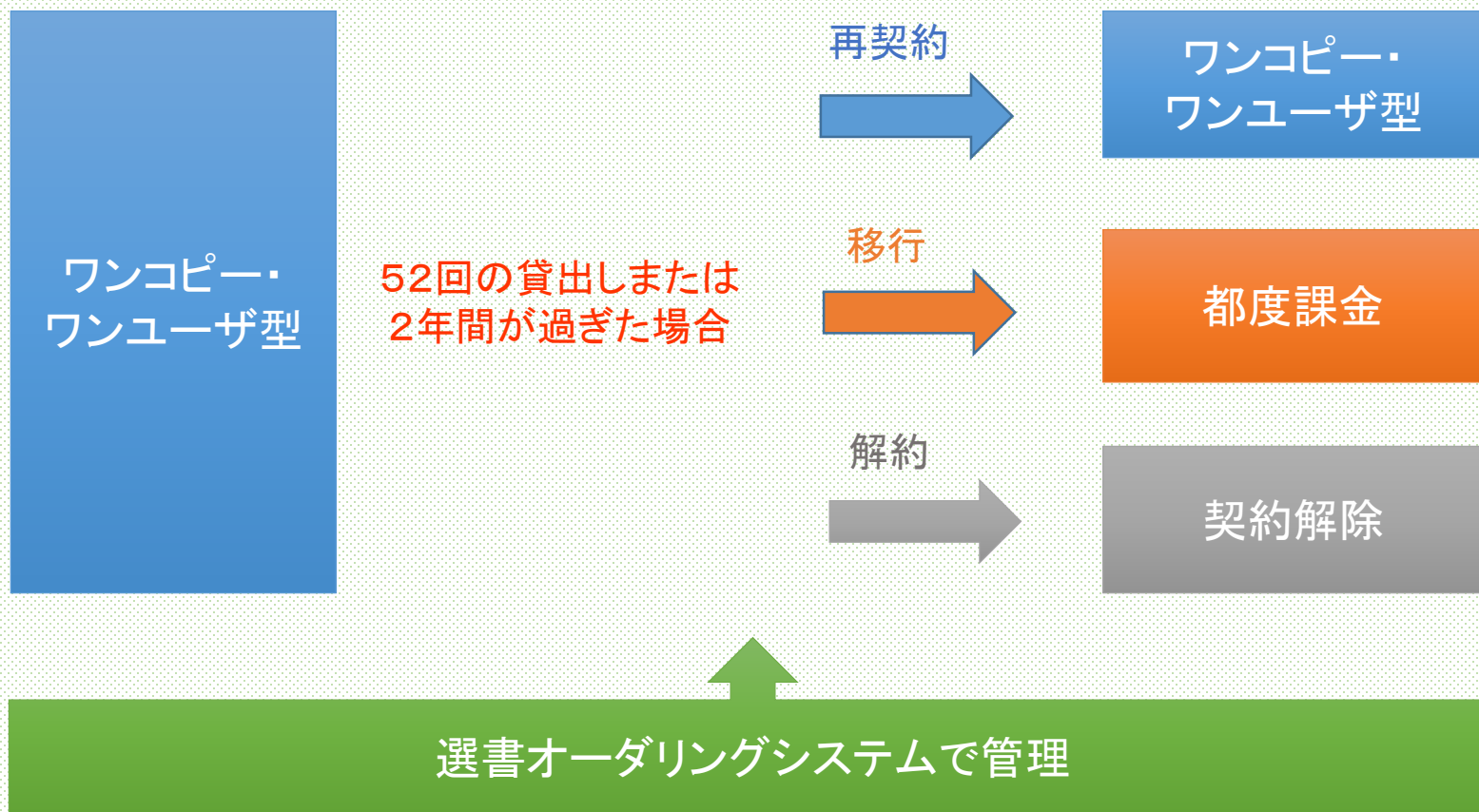
3. ワンコピー/マルチユーザ型

1冊の電子書籍を同時に多数の利用者へ貸出すモデルです。

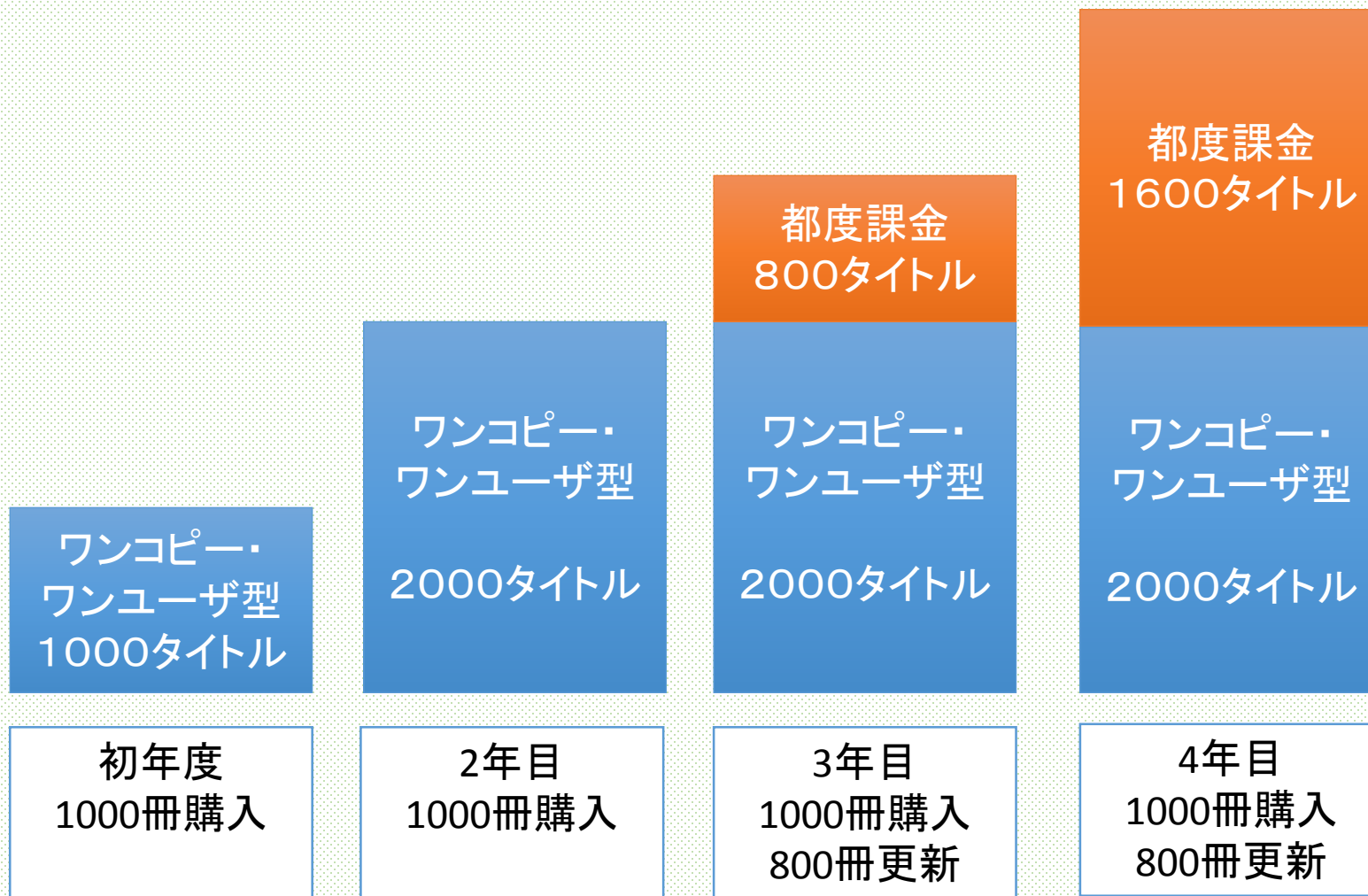
小学校、中学校、高等学校等の教育現場で利用するケースを想定したアクセス権ライセンスです。

アクセス権ライセンスの更新方法

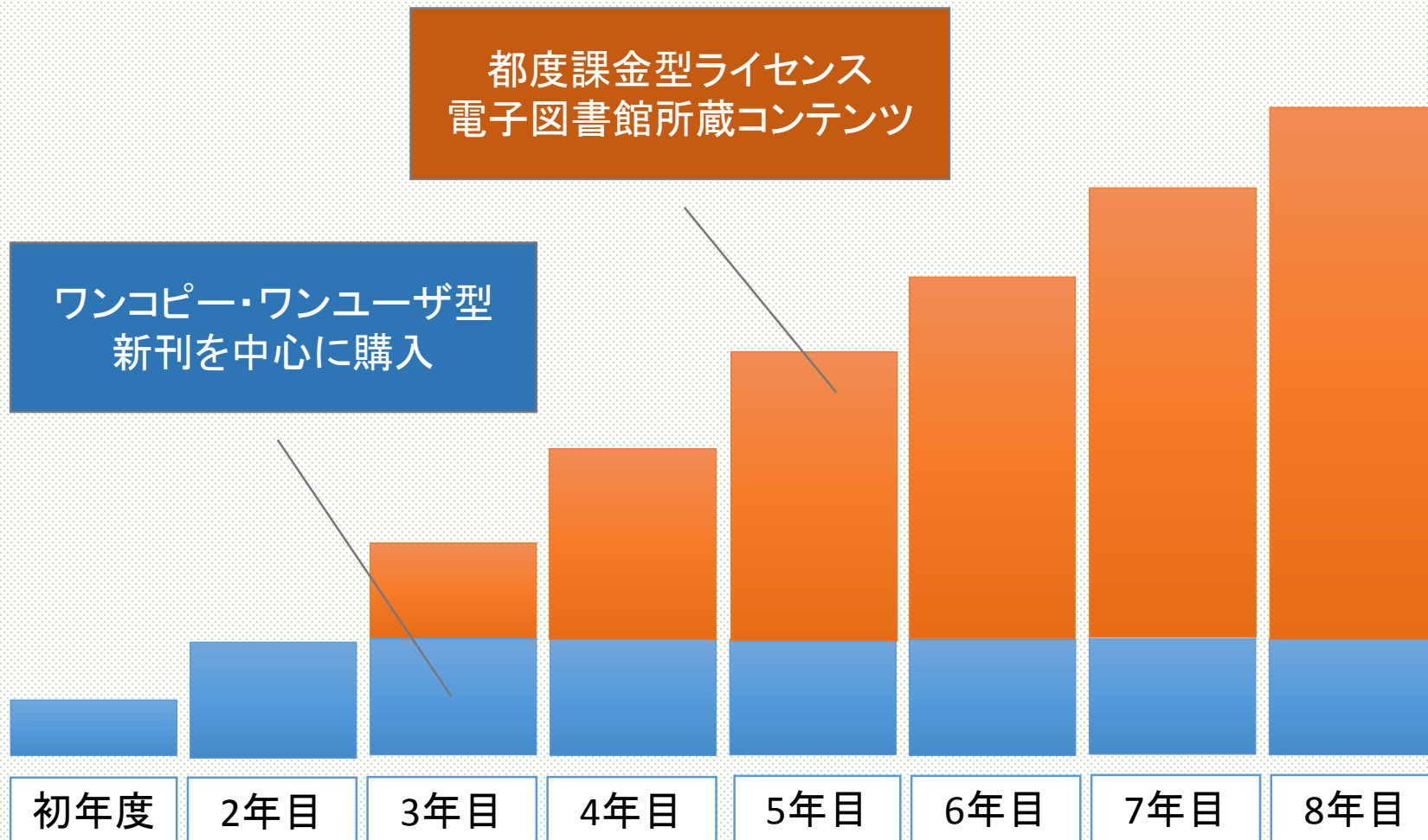
初回購入は必ずワンコピー・ワンユーザ型



図書館における電子書籍コンテンツ購入モデル



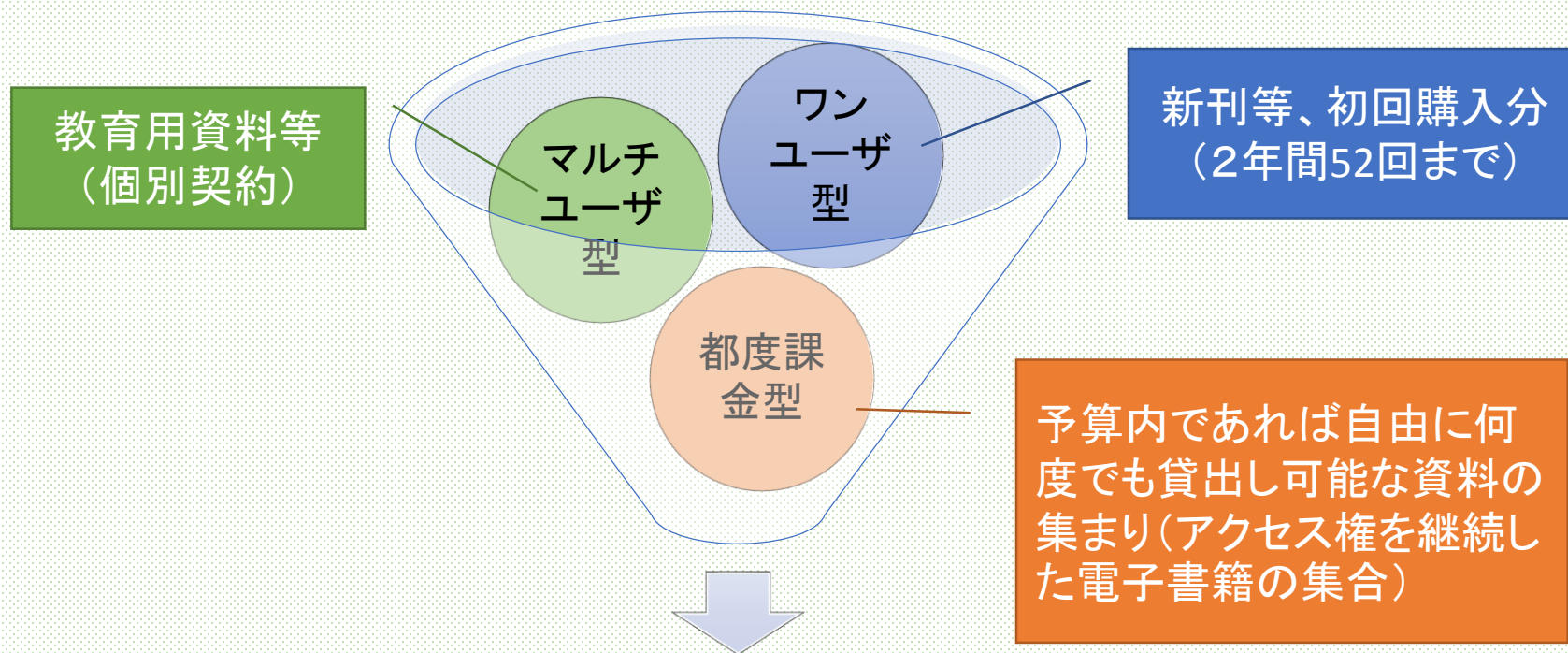
図書館における電子書籍コンテンツ購入モデル



都度課金型ライセンス
電子図書館所蔵コンテンツ

ワンコピー・ワンユーザ型
新刊を中心に購入

電子書籍のアクセス権はオーダリングシステムで選書し予算管理を行いながらアクセス権の購入・更新を行うことができます。

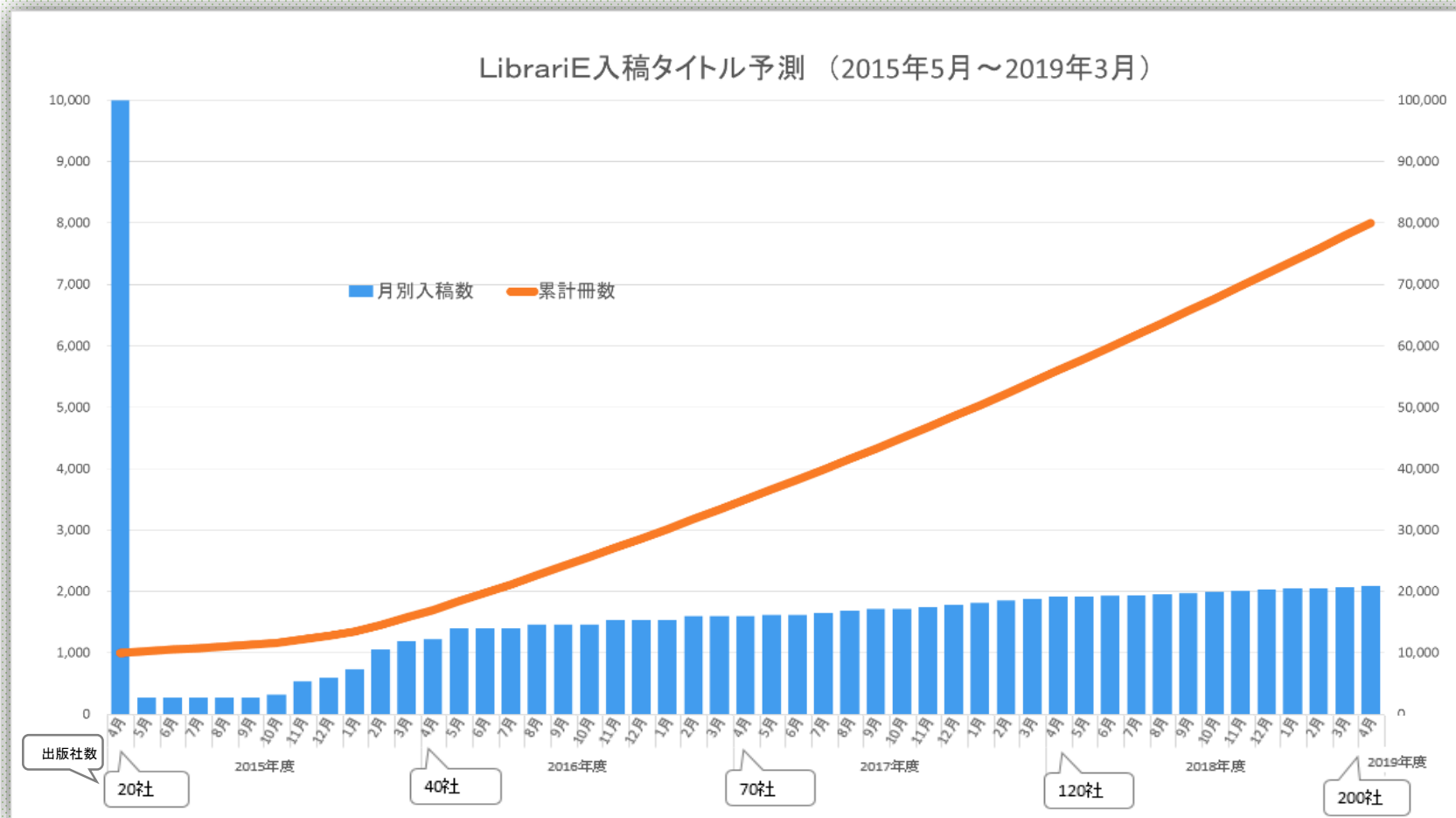


電子図書館の電子書籍所蔵一覧

LibrariEコンテンツ収集計画

4年間で200出版社8万タイトル

LibrariE入稿タイトル予測（2015年5月～2019年3月）



平成27年度のコンテンツ候補

4月からは図書館への販売を目的にコンテンツを収集し、図書館が購入しやすいようにパッケージ化(セット商品)して販売する予定。

講談社

講談社選書メチエ 講談社現代新書 ブルーバックス 青い鳥文庫 …

KADOKAWA

角川学芸出版 角川oneテーマ21 角川SSC新書 角川選書 EPUB選書
アスキー書籍 アスキー新書 中経出版 つばさ文庫 …

参加検討中

小学館様 全集企画など
実証実験協力出版社様(学研様 研究社様 インプレス様ほか)

出版デジタル機構

緊デジ作品ほか

ご清聴ありがとうございました。

社名 : 株式会社日本電子図書館サービス(略称:JDLS)
(英文商号:Japan Digital Library Service Co.,Ltd.)

設立日: 2013年10月15日

株主 : 株式会社KADOKAWA、株式会社講談社、株式会社紀伊國屋書店

所在地: 〒102-8177 東京都千代田区富士見1-6-1 富士見ビル1F

電話 : 03-6862-8753 FAX: 03-6862-8754 E-mail: info@jdls.co.jp